

交通安全情報

特別号
町田警察署

保護者の皆さんへ

子供を交通事故から守りましょう

緊急事態宣言が発令されて以降、都内の交通量は減少し、交通事故発生件数と負傷者数は昨年と比べ減少傾向となっていますが、都内では子供が犠牲となる悲しい交通事故が後を絶たず、特に“横断歩道を横断中”に事故に遭うケースが目立ちます。

休校期間中にやむをえず外出する際にも、学校生活が再開するときの備えとしても、保護者の皆様には、未来ある子供たちが道路を安全に通行するために次の点に気を付けて教えていただくようお願いいたします。

自らの身を守る安全行動の徹底を！

- ◎ 交通ルールや交通マナーを守ると同時に、「信号が青でも右左を確認する」「道路には飛び出さない」「一時停止場所や曲がり角、見通しの悪い場所では確実に止まって安全確認をする」など、自らの身を守るための安全行動を習慣化させる指導をお願いします。

誰でもすぐ実践できる交通行動 TOKYO SAFETY ACTION をチェックしてお子様と交通安全について話す会話のきっかけとってください！
<https://www.safetyaction.tokyo>



保護者自らが子供に正しい手本を示す！

- ◎ 子供は保護者の動きをよく見ています。保護者の正しい安全行動は、子供にとって最良のお手本です。「遠回りでも横断歩道を渡る」「横断禁止場所を渡らない」など、保護者自らが正しい手本を示しましょう。

自転車に乗る際は必ずヘルメットをかぶる！

- ◎ 自転車に乗る際には、必ずヘルメットを正しくかぶるよう指導してください。3年生の自転車教室を受講するまでは、保護者の同伴をお願いします。子供の大切な命を守るためにご協力をお願いします。



ドライバーのみなさんへ



緊急事態宣言中は、交通量が減るばかりでなく、日中に子供が通行していることがあるなど、これまでに経験したことのない交通事情となっています。たとえ道路が空いていても、スピードを抑え、いつも以上に慎重な運転を心掛けてください。